

会 議 結 果 報 告 書

令和 7 年 9 月 1 6 日

会議の名称	令和 7 年度第 1 回志木市立図書館協議会
開催日時	令和 7 年 9 月 1 6 日（火） 1 5 時 0 0 分～ 1 6 時 1 5 分
開催場所	柳瀬川図書館 2 階 視聴覚室
出席委員	原藤光委員（会長）、竹前榮二委員（職務代理）、富増亮介委員、 坂本定義委員、加藤紗千子委員、青野玲子委員、矢部英子委員 (計 7 人)
欠席委員	赤沢直幸委員、木原恵美委員、石川敬史委員 (計 3 人)
説明員職氏名	(柳瀬川図書館) 桜谷館長 (いろは遊学図書館) 竹田館長 (宗岡公民館) 岡野主査 (宗岡第二公民館) 吉田館長 (計 4 人)
議 題	(1) 市内図書館図書室の概要について (2) 令和 7 年度志木市立図書館の事業概要について (3) 第四次志木市子ども読書活動推進計画の策定について (4) その他
結 果	会長に原藤 光委員が選出される。 会長職務代理に竹前榮二委員が指名される。 (傍聴者 0 人)
事務局職員	早川主査

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 任命書交付（柚木教育長より交付）

3 あいさつ 柚木教育長

4 委員の自己紹介及び職員紹介

5 会長の選出及び会長職務代理の指名

（仮議長に桜谷柳瀬川図書館長が就く）

- ・ 会長に 原藤さんが自薦される。
- ・ 仮議長 の問いかけに、複数の委員から「異議なし」の声が上がる。

会長に原藤光委員が選出される。

また、原藤会長より竹前榮二委員が会長職務代理に 指名される。

6 議事

（１）市内図書館図書室の概要について

※配布資料をもとに事務局より説明

会長）市内図書館図書室の概要について、何か意見はあるか。

委員）未所蔵資料のリクエストをメールで受付可能とのことだが、出版予定の段階でもリクエストできるのか。

説明者）詳細については、検討中の部分が多いが、リクエストされた方と直接やり取りが出来ないので、情報源なども記入していただき、資料の確定ができるかたちにしたいと考えている。

会長）この機能を追加することにより、どのくらいの効果があると想定しているか。

説明者）以前から、市長への手紙などで「メールで未所蔵リクエストが出来るようにしてほしい」との要望があり、今回のシステム更新で機能を追加することとした。

会長）実際のリクエストの件数は、どのくらいか。

説明者）所蔵資料も含め、４館室の令和６年度のリクエスト総件数は約１０万３千件である。

会長）利用者がリクエストしやすくなる体制を整えたということになりますね。

委員）対面朗読の利用が減少したようだが、利用を増やすための方策は取っているのか。

説明者）対面朗読は図書館に来館しなくてはいけない、というのが利用の大きな障壁となっている。来館せずに対面朗読を利用する方法としては、ＺＯＯＭによる対面朗読があるが、市では整っていない。来館が難しい方には、県立図書館のサービス利用を紹介したりしている。

委員）本は、どのくらい盗難にあうのか。４館室の状況はいかがか。

説明者) 盗難とは少々異なるが、蔵書点検による点検不明資料数は、柳瀬川図書館が一番多く、100冊以上であったと記憶している。

会長) 不明資料の数は、毎年同程度か。

説明者) 同程度である。

委員) 柳瀬川図書館の館内に掲示してあるように、雑誌の盗難が多いのか。

説明者) 盗難防止の掲示をしたことにより、盗難が減った。また、人気のあるシリーズを最初から書庫に入れ、求めに応じて提供するという方法も行っている。

説明者) いろは遊学図書館では、雑誌をカウンターの目の前に配置してあることから、特に盗難は目立っていない。

(2) 令和7年度志木市立図書館の事業概要について

※配布資料をもとに事務局より説明

会長) 令和7年度志木市立図書館の事業概要について、何か意見はあるか。

委員) いろは遊学図書館は、小学校と併設しているが、近年子どもが本を読まないと言われていたが、実感しているか。

説明者) 低学年では図書の授業もあり、志木小学校については、本を読まなくなっているとは感じていない。

委員) 全校の利用状況のデータは無いのか。

委員) 図書館システムでは、学校別の利用統計を取る機能は無い。

委員) 小学生の子どもがいるが、子どもが通学している学校では、以前に比べて学校図書館の開館時間が増えているようだ。図書館がバックアップして、子どもたちが学校図書館の本を利用しやすい状況を作っているのかな、と感じている。何か取組を行っているのか。

説明者) 令和6年度より、学校図書館の実務を行っている学校図書館員の任用担当課が柳瀬川図書館になり、研修などを行いやすい体制を整えた。また、学校図書館事業推進アドバイザーが学校を訪問して管理職に学校図書館の運営についてアドバイスしたり、学校図書館員に助言を行ったりして、開館時間だけでなくレイアウトなど図書館の環境も変化していると考えている。また、1ヶ月に1冊も本を読まない子どもがどのくらいいるかという不読率の調査も毎年度行っており、その改善も含め、子ども読書活動の推進を行っていく。

会長) 公民館図書室の子どもに向けた取組はいかがか。

説明者) 秋ヶ瀬戸スポーツセンターが改修中のため、代わりに宗岡公民館の多目的ルームを利用して活動している団体もいる。これを好機として、それら団体の子どもたちに図書室をPRしており、事業への参加など効果が出てきているように感じ

る。

説明者) 宗岡第二公民館図書室は児童書の利用が多いが、絵本なのか読み物なのか種別までは検証していなかった。今後は、そのような部分にも配慮し、小・中学生に利用されやすい図書室を目指していきたい。

委員) 図書館システムで年齢別の利用状況はわからないのか。

説明者) 図書館システムでは、年齢別の利用状況は把握できない。児童、青少年という区切りになる。

委員) 自宅まで資料を届ける「家庭配本」サービスは、いろは遊学図書館だけの事業か。

説明者) いろは遊学図書館と柳瀬川図書館で実施している事業で、公民館図書室では実施していない。

説明者) 障害者手帳を有する方が対象のサービスであり、サービスを受けるために登録申込をしていただく必要がある。

委員) 図書館HPからリクエストを行うとき、「宅配貸出」という選択肢がある。どのようなサービスなのか。

説明者) 利用者カードがあれば、どなたでも利用できる図書館資料を自宅まで郵送するというサービスである。ただし、資料が届いた時点で利用者が郵送料を支払うという有料のサービスである。

委員) 図書館が開いている時間に来館できない人も多いので、良いサービスだと思うが、郵送料はどのくらいなのか。

説明者) 郵送料の目安は、図書館HPでお知らせしているが、先日は1冊送付して700円ほどであった。図書館の開館時間に間に合わない方は、駅前受取サービスの窓口が夜10:00まで利用できる。

(3) 第四次志木市子ども読書活動推進計画の策定について

※配布資料をもとに事務局より説明

会長) 協議会として求められる役割は何か。

説明者) 協議会では、計画について、ご協議をお願いしたいと考えている。次回までに計画の素案を送付するので、忌憚の無いご意見をいただきたいと考えている。

(4) その他

説明者) 「第四次志木市子ども読書活動推進計画(素案)」を9月中に郵送予定である。次回協議会にて協議をお願いしたい。また、その後、「第2回志木市図書館を使った調べる学習コンクール」審査会予定を予定している。

